

第2回 ボランティア市民活動推進協議会会議録

1. 開催日時 平成27年3月10日(火) 19時00分から20時30分
2. 場 所 四国中央市保健センター1F 集団検診室
3. 出席者 (会 長) 大西 誠二 (副会長) 渡邊 吉子
(委 員) 鈴木 千代子、鎌倉 裕基、新田 浩介
三鍋公一郎、西山 由美子
(欠席委員) 石川誠二、石水 雅人
(事務局) ボランティア市民活動センター長
市民交流課職員2名
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容
 1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 議事内容
 - (1) 平成26年度ボランティア市民活動センターの事業報告について
 - (2) その他
 4. 閉会
6. 会議録 次頁

会議録

事務局	<p>みなさんこんばんは。定刻がまいりましたので、平成26年度第2回ボランティア市民活動推進協議会を開会いたします。</p>
会長	<p>みなさん、こんばんは。本日は、昼間お疲れのところご参集いただきましてありがとうございます。</p> <p>それでは、議事に移ります。ボランティア市民活動センターの事業報告についてまず、市の取り組みを含めた全体の報告について事務局より説明します。</p> <p>(事務局より説明)</p>
会長	<p>ただ今説明がありました件について、ご質問やご意見はありませんか。他に質疑などはありませんか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、次にボランティア市民活動センターの取り組みについてセンター長より説明します。</p> <p>(センター長より説明)</p>
会長	<p>ただ今説明がありました件について、ご質問やご意見はありませんか。それでは、まず私から質問させていただきます。ボランティアセンターの利用状況についてですが、平日と土日での利用者数の割合は、どうですか。</p>
センター長	<p>土日より、平日の方が多いです。こういうことから、内部的には、日曜日に替えて月曜日を開館してはとの、意見もありますが、条例で定められていますので、現状では変更はできません。日誌等記録は、つけていますので、人数的に少ないというデータは残っています。</p>
副会長	<p>ボランティアセンターのパンフレットの裏を見ていて、開館日の記載で少しわかりづらいのが、土日祝日は開館となっていますが、日曜日が、祝日だとどうなりますか？また、月曜日が祝日の場合はどうなりますか。</p>
センター長	<p>その場合は、月曜日、火曜日が休館となります。月曜日は、どんな場合も、必ず休みになります。</p>
副会長	<p>ボランティアへの場所・設備の提供という項目のところで、貸出機器、設備の充実化をはかるとなっているのですが、もっとロッカーなどの備品類を増やしたらどうですか。</p> <p>また、2ページ目のボランティアセンター利用状況表の中で、個人登録者数と団体登録数が減少していますが、これは以前から言われているように、カウントの仕方を整理したものでしょうか。</p> <p>それと、これも以前から言っていますが、事業報告書の4ページ目にあるボランティア活動助成の項目で、福祉まちづくり助成金は、社協の予算で、ボランティアセンターの事業ではないので、事業報告書には、記載しないほうがいいと思います。</p>
センター長	<p>登録数については、今年度に入りまして、重複登録また抹消などの整理をいたしました。助成金については、共同募金のお金を社協本体が受けて団体等に助成しています。この記載は、あくまで関連事業という位置づけで明記しています。</p>
副会長	<p>そういうことを知らない人から見たら、ボランティアセンター自体が人件費を含め逼迫した予</p>

	算の中で、運営をしている状況なのに誤解を招くことになりはしないか。
センター長	このボランティア市民活動センター事業報告書の内容は、社協の報告書とほぼ一緒となっており、その他事業がたくさんある社協本体の報告の一部を抜粋したという形になってしまいます。
会長	ボランティアセンターは社協と一体ということで、記載しているんですよね。
センター長	ボランティアセンターは、市から指定管理を受けていますので、職員は社協の職員ですし、社協自体も同じような事業もしていますので、一体的に事業を実施したほうが効率的ですのでこういった記載方法をとっています。
会長	NPOではなく、社協が指定管理を受けると、こういう形態になるんですよね。
副会長	地区社協とボランティアセンターの関係はどうか。
センター長	地区社協は、無給(ボランティア)で活動をしており、ボランティアセンターとは別です。
委員	マッチングの話になるのですが、施設などから一芸ボランティアの方に来てもらっていますが、私なんかはそのあとで、ボランティアセンターに報告をしているのですが、施設に訪問していただいた方たちから、訪問後の報告はありますか。またそれは、マッチング数にカウントされますか？
センター長	それは、マッチング数にカウントされます。直接、ボランティア団体に依頼して活動してもらい、ボランティアセンターを通さない場合は、マッチング数にはカウントしません。
委員	ボランティアセンターの来所数ですが、1日平均2〜3人となっています。これは、他市などと比べて多いですか少ないですか。
センター長	他市等のデータをつかんでいないので、わかりませんが、ボランティアセンターを通さない数についても一定数はあると思います。
委員	ボランティアセンターを通さなくていいとは思いますが、もっとセンターを活用できればと思います。例えば、センターからこんなボランティアがありますよと提案みたいなものがあれば、活用しやすくなるのではと思います。
副会長	紹介マッチングみたいなものをしてみてはどうか。 例えば、代表的なマッチング事例を広報紙やホームページなどに掲載すれば利用者のイメージがわきやすく、利用が増えるのではないかと。
センター長	マッチング事例を掲載するということですよ。今は、広報紙ではボランティアグループの紹介のみです。マッチング事例としては、施設の慰問やおさがりバンクなどのボランティアが多いです。個別ボランティアについては、内容などあまり把握できていません。
委員	以前に妻鳥小学校で11号バイパスの清掃をしていた時に、土居町の太鼓台のメンバー8人が、参加してくれたことがあった。学校関係者も知らなかったもので、ボランティアセンターからの紹介で参加してくれたと思う。3年ほど続けて参加してくれた。こういうのは、よい事例だと思う。
会長	それは、いい事例だと思う。何かマッチングの見える化ができるといいですね。
センター長	ボランティアセンターからは、呼びかけはしていませんが、若い人は割とボランティアチャレンジを見て参加していると思います。

会長	私は、学校評価会議という会議に参加していますが、その中で、小中学生のアンケート結果で、ボランティアをしたいが何をしてもよいかわからないといった回答が多くありました。学校の中で、なかなかボランティア教育またはその実践等が進んでいない現状があります。高校生になると、大学などの推薦に必要なことから参加する動機づけはありますが、小中学生では、親子での参加だったり、同意書が必要だったりとなかなか参加しづらい現状もあります。学校側もいい活動に対しては、事例の発表だけでなく表彰をして気運を高めたいとの思いはあるとのことです。
事務局	さきほど説明しました地区コミュニティ協議会の事業で、2つの地区では、海岸清掃をしようという計画が出ております。地域で、こういう事業があれば親子で参加しやすく、ボランティアのきっかけにもなろうかと思えます。
センター長	報告書にもありますが、福祉教育の推進ということで、市内3高校、6中学校、1小中一貫校、18小学校を福祉協力校に指定し、児童生徒の福祉活動に対する援助を実施しています。これは、生徒数割などで配分していますが、1校あたり3～5万円を助成しております。申請によりますが、用途については、自由度がありますので、各校独自に有効的に使えるようになってきています。ボランティア授業などの実施にあたっては、ボランティアセンターなどに相談してもらえば、いろいろと連携していけると思いますが、先生方も忙しくあまり相談がないのが現状です。多いのは、車椅子体験や手話ですが、過去には、サロンに訪問して地域の高齢者と交流したというのがあります。
会長	この助成は、枠があるのですか？
センター長	すべての学校に助成しています。事業自体や取り組みの趣旨についてあまり知られていないので、積極的にPRしていきたいと思えます。
委員	ボランティアセンターへは、生徒は足を運んでいますか？
センター長	時々、問合せや相談などはあります。
委員	以前に金生川ラバーズの取り組みを出前講座で学校に出向いて説明したことがあったが、そのあとの生徒の感想文で、ボランティアについての関心の高さがわかった。また、今月22日にも活動がありますので、よろしく願います。高校生は、大勢参加してくれています。
センター長	あくまでボランティアは、強制でなく自発性によるものなので、広めるのには、難しいところがあります。
会長	活発なところは、先生の働きかけもあるが、その学校の生徒会などでボランティア活動があるところだと思います。
委員	チラシにありますボランティアセンター市民活動研修会7回シリーズの研修に出たかったが、仕事があり叶わなかった。次回する際は、夜間の実施を考えていただきたい。
センター長	来年度も5回シリーズで同じような研修会を考えていますが、検討してみます。
会長	この7回シリーズで実施した四国中央市の課題や魅力、地域資源などについての成果を知りたい。
センター長	本日は、資料は持ち合わせていませんが、例えば、紙製品やお茶を活かしたまちづくりなど5つぐらいに絞られていたと思えます。

副会長	川之江の商店街は、いろいろ取り組んでいたりしてみなさん元気でいいですよ。
会長	でも、他の商店街と同じで空き店舗もあります。どこの商店街も空き店舗の問題が大きいですね。駐車場も必要ですね。他に質疑などはありませんか。 (意見なし)
会長	それでは、次のその他の事項になりますが、みなさんが普段活動している団体のことなどどんなことでも結構です。情報交換でもいいのでご意見をお願いします。
委員	シークレットサービスですが、事務所を出すとのことを聞いたのですが、どういう状況かわかりますか。
会長	土居町の11号線沿いではないでしょうか。
センター長	先日、社協の事務所にシークレットサービスのボランティア事務所ができたと報告に来られました。その際に、事務所の名称について相談がありました。市に相談したら、同一的な名称は避けたほうがいいとのアドバイスがあったので、再度社協に相談に来ますとのことでした。
会長	彼らは、活発に活動していますね。4月4～5日に土居のすすきが原入野公園で行われる桜まつりで、ロハスクラブなどと“ひとマルシェ”というのをするとのことです。
副会長	頑張っていると思います。子育てフェスタにも参加していました。確か妖怪ウォッチのブースを出していました。
センター長	今後、ボランティアセンターのような組織を考えているのなら、ボランティアの相談やマッチングなどの機能を持った中間支援組織に拡充していかなくてはならないと思います。そうすれば、ボランティアセンターの指定管理も受けられると思います。
副会長	自分達の活動だけでは、いけないということですね。
事務局	まちづくり活動支援事業についてお知らせいたします。4月から制度変更を予定してこれまでの団体の活動補助的な性格から第二次市総合計画のテーマに沿った分野のコースと活動団体の立ち上げ支援的なコースの2テーマに対する補助に変更いたします。詳細につきましては、4月号の市報でお知らせいたしますのでご覧になってPRもよろしくをお願いします。
会長	そうですね。これについてみなさんのお知り合いの団体にもお伝え下さい。その他何かございませんか。
事務局	本日の会議が現委員さんの任期中での最後の会議となります。今期の委員さん方におかれましては、第2次ボランティア市民活動推進計画の策定に携われ、大変なご苦労ご尽力をお掛けいたしました。本当にありがとうございました。
会長	それでは、ボランティア市民活動推進協議会を閉会したいと思います。